

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか、…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報じょうほうを獲かく得とくする

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作そうさを正しく行う

○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

○順序すじみち立てて筋道すじみちをとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴とくちょう的な部分ぶぶんに注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分(計算式の数、素数、約数、平方数、…など)に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性たいしょうせいに注目する
- ・規則や周期に注目する

○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点してんを変える

- ・図形を別の視点で見るとらえる
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定の状況を仮定する

- ・極端きょくたんな場合を想定して考える(もし全て○なら、もし○○がなければ、…など)
- ・不足みそを補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のものを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲はんいや大きさの見当をつける

思考スキル

○知識

- ・ 情報を手がかりとして、持っている知識を想起する
- ・ 想起した知識を正しく運用する

○理由

- ・ 筆者の意見や判断の根拠こんきょを示す
- ・ ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・ 現象の背後はいごにあることを明らかにする

○置き換え

- ・ 問いを別の形で言い表す
- ・ 問題の状況じょうきょうを図表などに表す
- ・ 未知のものを自分が知っている形で表す
- ・ 具体的な数と比を自由に行き来する

○比較

- ・ 多角的な視点してんで複数のことがらを比べる
- ・ 複数のことがらの共通点を見つけ出す
- ・ 複数のことがらの差異さいを明確にする

○分類

- ・ 個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・ 共通点、相違点そういてんに着目して、情報を切り分けていく

○具体・抽象

- ・ 文章から筆者の挙げる例、特定の状況や心情を取り出す
- ・ ある特徴とくちょうを持つものを示す
- ・ 個々の事例から具体的な要素を除いて形式化する
- ・ 個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・ 情報どうしを結び付ける
- ・ 要素間の意味を捉え、情報を補う
- ・ 部分と全体のそれぞれが互たがいに与えあう影響えいに目を向ける
- ・ ある目的のための手段しゅだんとなることを見つけ出す

○推論

- ・ 情報をもとに、論理的な帰結を導き出す
- ・ 情報をもとに、未来・過去のことを予測する
- ・ 情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

小学六年

適性検査A

解答と解説

ね	業	説	が	要	る	
り	が	家	向	な	こ	科
続	で	も	い	の	と	学
け	き	、	て	で	の	者
る	る	小	い	、	中	は
頭	資	説	る	物	に	、
の	質	を	と	わ	疑	常
悪	が	書	筆	か	問	識
い	必	く	者	り	を	的
人	要	動	は	の	持	に
の	な	機	述	悪	ち	わ
ほ	の	と	べ	い	、	か
う	で	長	て	頭	苦	り
が	、	い	い	の	心	き
向	懸	時	る	悪	す	つ
い	命	間	。	い	る	た
て	に	た	ま	人	こ	と
い	頭	え	た	の	と	思
る	を	て	、	ほ	が	わ
。	ひ	作	小	う	必	れ

100

20

問二【例】		
い	っ	頭
性	て	の
質	し	い
が	ま	い
あ	う	人
る	の	は
か	で	先
ら	、	に
。	先	あ
	に	る
50	進	災
	む	難
	気	が
	持	あ
	ち	ら
	を	か
	失	じ
	い	め
	や	わ
	す	か

40

20

問一【例】	
と	実
い	際
う	に
も	自
の	分
を	の
よ	足
う	で
や	頂
く	上
理	ま
解	で
す	登
る	つ
。	て
35	み
	て
	、
	富
	士

20

問三【例】

た	こ	毎	と	の	き	見		が	で	で	が	け	さ	
い	と	日	思	他	る	を	こ	他	わ	起	で	れ	ん	私
。	を	ス	う	の	よ	よ	れ	の	か	こ	き	ば	の	は
	意	ケ	。	活	う	く	か	人	り	る	る	も	考	、
	識	ジ	こ	動	に	聞	ら	よ	に	さ	と	の	え	頭
	し	ユ	の	に	し	き	の	り	く	ま	思	ご	を	の
	、	ー	よ	集	た	、	生	多	い	ぎ	う	と	支	い
	自	ル	う	中	い	で	活	く	こ	ま	か	を	持	い
	分	を	な	し	。	き	で	と	と	な	ら	人	し	人
	の	立	力	て	そ	る	、	れ	を	こ	だ	よ	た	に
	行	て	を	取	の	だ	私	る	深	と	。	り	い	な
	動	、	養	り	た	け	は	と	く	を	そ	先	。	り
	に	時	っ	組	め	短	授	思	考	見	う	に	な	た
	メ	間	て	め	に	い	業	う	え	聞	す	成	ぜ	い
	リ	を	い	る	は	時	や	か	た	し	れ	し	な	と
	ハ	有	く	力	、	間	他	ら	り	た	ば	と	ら	い
	リ	効	た	が	授	で	の	だ	す	り	、	げ	、	う
	を	に	め	必	業	理	人	。	る	、	世	る	頭	じ
	つ	使	に	要	や	解	の		時	複	の	こ	が	ゆ
	け	う	、	だ	そ	で	意		間	雑	中	と	よ	ん

440
(配点)

400

300

200

{ 〔問一〕 15点
〔問二〕 25点 } 計100点
〔問三〕 60点

【解説】

問一 B1 情報を獲得する 置き換え 具体・抽象

文章Bの第三段落や第四段落に「頭の悪い人」が富士の全体をどのようにしてとらえるかが書かれています。たとえば、第四段落には「実際に自分の足を使って頂上まで登ってみなければ、富士山がどんなものか理解できない」という部分があります。この内容を指定された字数でまとめます。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「頭の悪い人」が富士全体をどのようにしてとらえるかに ついて、筆者の考えが説明されているか
- ② ①に過不足がないか
- ③ 表記や表現が正しいか

問二 B2 情報を獲得する 理由 比較 置き換え 具体・抽象

文章Bの第四段落で筆者は「小説家という種族は、頭のあまり良くない男の側に属しています」と述べています。続けて「というか、それどころか、何度登ってみてもまだよくわからない、あるいは登れば登るほどますますわからなくなっていく」と小説家の持つ性質を富士登山に例えて述べています。つまり、筆者は、小説家は小説を書けば書くほどますますわからなくなるといふ性質があるということを書きようとしているのです。この、小説家がとる行動が「どう転んでも、頭の切れる人にはできそうにないこと」であると考えられます。一方「頭のいい人」にどんな性質があるから**文章B**の小説家のような行動ができないのか、ということについては、**文章A**に「頭のいい人は見通しがきくだけに、あらゆる道筋の前途の難関が見渡さ

れる。少なくとも自分でそういう気がする。そのためにややもすると前進する勇気を阻喪しやすい」と書かれています。つまり、頭のいい人は先にある困難があらかじめわかってしまうので、先に進む気持ちを失いやすい性質があるからだと言いかえることができます。この内容を四十五字程度という字数指定に合うように言葉を選んでまとめましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「どう転んでも、頭の切れる人にはできそうにないこと」について、「頭のいい人」にどのような性質があるからかが説明されているか
- ② ①に過不足がないか
- ③ 表記や表現が正しいか

問三 C2 情報を獲得する 理由 比較 具体・抽象 推論

文章Aと**文章B**に書かれたことをふまえながら、ことなる意見を持つ人の考えのどちらを支持し、これからの学校生活にどのように役立てていくか、あなたの意見を述べる問題です。第一段落では、科学者と小説家は「頭のいい人」「頭の悪い人」のどちらが向いているのか、また、その理由についてそれぞれまとめます。

科学者については**文章A**に「普通にいわゆる常識的にわかりきったと思われることで、何かしら不可解な疑点を認め、苦吟する」ということが、科学的研究に従事する者にはさらにいっそう重要」と書かれています。ですから、ものわかりの悪い「頭の悪い人」が科学者に向いています。

また、小説家については**文章B**に「小説を書かずにはいられない内的なドライブ。長期間にわたる孤独な作業を支える強

「断然な忍耐力」と書かれています。ですから、懸命に頭をひねり続けることができる「頭の悪い人」が小説家に向いています。これらの部分をそれぞれまとめるとよいでしょう。

第二段落では、「しようさん」と「じゅんさん」のどちらの考えを、支持したいと思うか、理由とともに考えを書きます。どちらの意見について書いてもかまいませんが、どのような点で支持したいのかを明確にして書きましょう。

第三段落では、①と②の内容に関連づけて、これからの生活のなかでどのようなことを心がけ、行動したいかあなたの考えを書きます。たとえば、しようさんの意見に近い場合、勉強をねばり強く続けてしっかり身につけるなどとしてもよいでしょう。あなたの考え方に沿って意見をまとめましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

第一段落について

① A 科学者と小説家は「頭のいい人」「頭の悪い人」のどちらが向いているのか、理由とともにそれぞれ筆者の考えが書かれているか

① B 内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

第二段落について

② A 「しようさん」と「じゅんさん」のどちらの考えを支持したいと思うかが理由とともに書かれているか

② B 内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

第三段落について

③ A ①と②の内容に関連づけて、これからの生活のなかで、

あなたはどのようなことを心がけ、また行動したいかが書かれているか

③ B 内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

全体について

④ 段落が問題の指示に従って分けられているか

⑤ 解答用紙の使い方が正しいか

⑥ 誤字・脱字・送り仮名、仮名遣いの誤りがないか

⑦ 字数制限が守られているか